



ケニア国より良い生活のための
地方水衛生実施能力強化プロジェクト
プロジェクトニュース④



郡職員や住民組織への給水施設の運営・維持管理に関するトレーニングの実施

2025年2月にキツイ郡、7月にマチャコス郡、8月にバリンゴ郡において、給水施設の運営・維持管理（以下、「O&M」）に関するトレーニングを、郡政府職員を対象に実施しました。このトレーニングは、本プロジェクトの進捗状況、本プロジェクトで作成した深井戸データベースの分析結果、動力化された給水施設の住民組織によるO&M方法、無収水対策などのトピックを扱いました。



郡政府職員へのO&Mトレーニングやデータベース分析結果の共有

ケニアの地方給水施設は、依然として多くの施設が住民組織によって維持管理されています。例えば、キツイ郡では、約800箇所ある給水施設のうち、約70%が住民による維持管理です。本プロジェクトでは、給水施設へのアップグレードや更新工事（以下、「介入」）を実施した後、住民組織が継続して維持管理を行う場合、住民組織を対象にO&Mに関するトレーニング（動力給水施設の運転や維持管理に関する記録の指導）を郡政府職員とともに実施しています。介入後は、継続してO&M状況をモニタリングしており、多くの施設で、住民組織が水料金を適切に徴収し、毎月の運営記録をつけ、持続的な運営がされていることや、施設の給水量が増加傾向にあることを確認しています。また、積極的に各戸給水接続の促進に取り組んでいる施設もあります。本介入は、水汲み労働の軽減による水料金支払い意思の向上や、給水量の増大に貢献し、地域住民により大切にされる給水施設を創出しています。そして、水料金収入の増加による施設運営安定化とともに、生活基盤である「水」の安定的な供給は、地域コミュニティの活性化にも寄与していると考えます。本プロジェクトでは、引き続き、持続性のある地方給水施設の実現に取り組んでいきます。



住民へのO&Mトレーニング（左）と介入後多くの住民が利用するようになった給水施設（右）